



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT 報告書

11月11日 (金) 岡国フォーミュラトレーニング
11月24日 (木) 岡国フォーミュラトレーニング

11 2022 NOV





20℃

Track
OKAYAMA

Driver
Yuma Sugita

★トレーニングプログラム

- 12:45～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 12:55～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 13:35～ ロガー&車載映像 解析
- 14:05～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 14:15～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 14:45～ ロガー&車載映像 解析
- 15:25～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 15:35～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 16:15～ ロガー&車載映像 解析
- 16:30 解散



最大の課題克服に向けて

2期生の杉田がトレーニングに参加しました。秋晴れの中、セッションがスタート。この日は30分×3本あり、この日の課題は”アクシデントなく、この日のすべての走行を終えること“にありました。

杉田はこれまでスピンやグラベルストップなどが立て続けにあり、集中力が欠ける面が多く見られました。この日は、ラップタイム向上よりも、安定したタイムで周回を重ねるために活用しようということになりました。

その課題どおり杉田は毎ラップ安定したタイムで周回を刻んでいきました。ピットではリアルタイムでオンボード映像を見られるため、杉田のドライビングを確認することができます。何度か危ない場面が見られたものの、最後までマシンを壊さずに1枠目を終えました。

2枠目以降も順調に周回を重ね、ラップタイムも安定して出せるようになりました。この日杉田はトラブルなく、すべてのトレーニングメニューを消化し、走行マイレージをしっかりと稼ぎ、次に繋がる有意義な1日となりました。



REPORT

11月24日（木） 岡国フォーミュラトレーニング



15°C

Track
OKAYAMA

Driver
Yuzuki Miura/Yuma Sugita

★トレーニングプログラム

- 09:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 09:30～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 10:05～ ロガー & 車載映像 解析
- 14:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 11:30～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 12:05～ ロガー & 車載映像 解析
- 13:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 13:30～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 14:05～ ロガー & 車載映像 解析
- 15:25～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 15:35～ フォーミュラ走行枠④ 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 16:10～ ロガー & 車載映像 解析
- 16:30 解散



ラップタイム勝負

この日は1期生の三浦と2期生の杉田がトレーニングに参加しました。朝に降った雨により路面はウェットコンディション。

1セッション目は杉田がドライブ。ウェットタイヤを装着してコースへと出ていきました。しかし3周を過ぎたところで、ブレーキングでタイヤをロックさせてしまいスピン。グラベルストップしてしまい、早々にこのセッションを終えてしまいました。

2セッション目は三浦がドライブします。路面も乾き始めドライタイヤへ交換しました。この日の三浦の最大の目的は“自らのベストタイムを更新し、杉田にラップタイムで勝つこと”にありました。冷えたスリックタイヤに熱を入れ徐々にペースを上げていきました。まだ縁石やギャップに水が残っていた影響もあり、ラップタイム更新とはならなかったものの、まずまずのタイムをマークし、自らの走行枠を走り切りました。

午後のセッションがスタート。3セッション目は杉田がステアリングを握ります。走り出すや否や、午前に三浦が記録したタイムを大幅に更新し、この日のベストタイムを記録しました。この日最後のセッションがスタート。三浦が杉田のタイムを打ち破るべくコースへ出ていきました。午前に自らが記録したタイムを更新し、順調にタイムを削っていきました。しかし後半、タイムを意識しすぎたのかミスを連発してしまい、なかなかラップを纏め切ることができません。三浦は最後の最後まで杉田のタイムを更新できず、悔しい表情でこの日のトレーニングを終えました。



DRIVERS PERFORMANCE Gr.1-2

Yuma - SUGITA (13) Best 1.41.479

今月も速さを証明した杉田。三浦とのラップタイム勝負にも勝ち、さらに自信をつけた様子でした。走行の合間に三浦のデータロガーを分析し、自らが負けている部分を把握し、相手の良い部分を確実に自分のものにできました。しかし未だスピンなどのインシデントが多く、今後これらの課題を克服していかなければなりません。



Yuzuki - MIURA (15) Best 1.42.379

今月も杉田との勝負で悔し涙を流した三浦。同じ日に同じクルマに乗る相手は最大のライバルであり、これからも必ず比較されてしまいます。この勝つか負けるかの厳しい勝負の世界で勝ち残るために、今自らが負けている部分を冷静に分析して、勝つための気持ちを持ち続けるメンタルが今の三浦に試されています。





Junior Drive
Shiraiishi Racing School



Junior Drive
Shiraiishi Racing School



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra

